

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 瑞浪高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和6年11月8日(金) 13:30～15:30
- 3 開催場所 瑞浪高等学校 会議室  
開催にあたり、委員による授業参観を実施した。
- 4 参加者  
会長 山田 幸男 瑞浪市教育委員会 前教育長  
委員 景山 助夫 瑞浪商工会議所 会頭  
三輪田 幸泰 瑞浪市議会議員  
伊藤 慶和 瑞浪市教育委員会 教育長  
中山 英三 瑞浪市立瑞浪南中学校長 (欠席)  
正木 英二 瑞浪市みずなみ未来部長  
栗岡 洋美 中京学院大学短期大学部 准教授 (欠席)  
渡邊 冬子 瑞浪市立一色幼稚園 園長  
玉川 幸枝 合同会社プロトビ 代表 (欠席)  
上野 真理 本校育友会長  
  
オブザーバー 小川 祐輝 岐阜県議会議員  
水野 光二 瑞浪市長 (欠席)  
石田 智久 本校同窓会長  
  
学校側 伊左治 錦司 校長  
堀 裕邦 教頭  
今井 典彦 教務部長 (教務主任)  
丸谷 利幸 進路支援部長 (進路指導主事)  
横井 雅代 生徒支援部長 (生徒指導主事)  
加藤 英美 保健厚生部長 (保健主事) (記録)

### 5 本校生徒代表者(6名)との懇談について

学校運営協議会委員とオブザーバーが3名ずつ3グループに分かれ、本校生徒2名(普通科と生活デザイン科各1名)と30分間の懇談を行った。

#### 第1グループ

委員:「瑞高を進学先に決めた理由は何か。」

生徒:「濃南中学出身で少人数が当たり前だったので、瑞高の少人数授業にひかれた。」

生徒：「瑞高の学校ビデオで、ファッションコースの紹介を見て、自分もあのような服を作りたいと思った。」

委員：「瑞高のPRを後輩にするとしたら、簡単にどんな表現で紹介するか。」

生徒：「自分は3年間特編クラスで、ほとんどメンバーが変わらなかったため、みんなが仲良く過ごすことができた。他の高校はよくわからないが、仲が良いことがいいと思う。」

生徒：「コースとして色々な授業がある点。福祉などの色々なことが学べる。」

委員：「校舎を回ったが、多くが昔のまま。何か不便なことはないか。」

生徒：「教室のドアが外れやすいが、その他特に不便を感じたことはない。」

委員：「授業を見たが、クラスの雰囲気がとてもよい。君たち二人とも話すときにちゃんと我々の目を見て話すことがとてもよい。」

## 第2グループ

委員：「瑞浪高校でよかったところは何か。」

生徒：「行事がいっぱいで楽しい。特に文化祭が楽しい。」

生徒：「文化祭や球技大会は生徒会や体育委員が主導し、クラスでチームを作ってルールに従いながら楽しめるようにしている。」

委員：「私たちに聞いてみたいことはあるか。」

生徒：「就職について、身に付けておくといいことはどんなことか。」

委員：「進みたい方向のものもいいけど、興味のないこともいっぱい勉強した方がいい。就職すると自分のやりたいことができなくなるかもしれない。高卒就職は大学に通っている人たちとは全く違ってくる。」

委員：「趣味はあるか。打ち込めることがあるといい。字がうまいといい。将来サインしたりするときも多くなり、字がうまいと自信がつく。」

生徒：「習字習っている。」

委員：「字がきれいだと、この子出来るんだと思われる。」

委員：「大人はそう思うよ。自分が自慢できるものがあると自信になる。教科の勉強ができてもツンツンしてはだめ。コミュ力は自分で磨くしかない。しっかり培っておくといい。」

委員：「今やっていることが直接結びつかなくてもいい。」

委員：「何に出会うかわからないので、いろいろやっておくといい。」

委員：「人に挨拶できるといい。」

## 第3グループ

委員：「昔は歩いての登校だったので、今はバスで登校できるのがうらやましい。」

委員：「バスの乗車数が多いと聞いている。」

生徒：「他校生も利用するため、乗れないこともある。」

委員：「昔は2年生から文系・理系とコースに分かれて授業を受けていたけど、今もそうなの  
か。」

生徒：「今はもっと多くのコースに分かれる。」

委員：「検定の内容は、どんなことをするか。」

生徒：「食物3級はかきたま汁、鶏肉を使った煮物を40分以内で作る。4級はキュウリ切り  
を行った。」

## 6 会議の概要（協議事項）

### （1）スクールミッションについて

意見1：将来の学校存続を考える委員会を早急に立ち上げて検討していくべき。

意見2：産業の分野に限らず、地域を支える人材育成を目指してほしい。

意見3：「地域」は東濃全域を示すのか瑞浪市を示すのかを分かりやすく焦点化するとよい。

### （2）教育活動の報告について

意見1：教員の一生懸命さが伝わる、年々よい学校になっている。

意見2：生徒と教員の一体感を感じる授業が展開されていた。

懇談をした1年次生の生徒からは学校生活を充実させたいという意欲を感じた。

意見3：懇談では、生徒の将来に向けて頑張っている姿が垣間見られた。

意見4：県外への就職希望者も経験を積んだ後に、地元で活躍したいと思える地元への誇り  
を探究活動等で培ってもらいたい。

意見5：企業等、地域のさまざまな人とコミュニケーションをとる機会を増やしてほしい。

意見6：演示やボランティア活動での地域行事への参加を通して、他校生徒や地域住民と交  
流し、地元への愛着を深めてほしい。

### （3）会議のまとめ

第2回学校運営協議会では、委員と生徒との懇談会を実施し、とても有意義で、生徒の  
生の声を聴くことができ、生徒理解や学校理解につながったとの意見があった。

スクールミッションの原案を提示し、委員より文言等について様々な意見をいただいた。  
校内で再検討し、次回の学校運営協議会において修正案を提示し、承認を得ることとなる。